

一般質問

10名が登壇・市政を問う

19年度当初予算編成に関して

子供たちの基礎学力・規範意識と、教育費の取扱いについて



問 子供たちの心の健全

までの3年間で、全学校

さを守る鍵は、基礎学力

職員、子供たちに関わり

の向上と規範意識との説

のある市の職員の研修を

もあり、今、子供たちが

市長自らの発案で重点的

それぞれの学年に応じた

に予算配分をし、教育環

基礎学力と規範意識が身

に付く教育を更に推進す

ることが強く求められて

コンを貸与し、子供たち

おりまます。教育環境の整

の軽減を図るためにパソ

備（人・金・時間）を行

と接する時間を生み出し

ります。教育環境の整

たいと考えています。

備（人・金・時間）を行

また、先生方の事務処理

い、少人数授業（少人数

の軽減を図るためにパソ

学級）教師の資質の向上

コンを貸与し、子供たち

（教える技術・算数・理

と接する時間を生み出し

科・国語の副教本の作

たいと考えています。学力向

成）等の教育改革をする

と接する時間を生み出し

には、予算編成の最終権

たいと考えています。学力向

者である市長の理解と支

上では、1学級あたりの

援が必要です。常日頃、

児童・生徒数を少人数化

教育のまちを標榜してい

たいと考えています。学力向

る市長に、基礎学力及び

と接する時間を生み出し

規範意識向上の方策と、

達障害児への支援では、

予算編成における教育費

児童・生徒数を少人数化

の取扱いについては

いた支援体制の構築を図

基礎学力向上は、学ぶ

り、1学級に6～8%在

楽しさ、学習意欲につな

籍するといわれる軽度発

がる重要な課題だと認識

達障害児への支援では、

がっています。平成21年度

児童・生徒数を少人数化

より上がってきた予算要

がります。教育委員会

市独自のいわゆる特別教

育支援事業は3カ年で数

施設の改築・改善等、ハ

ード面の費用は16億2千

6百万円、ソフト面では

より上がってきた予算要

シ、教育のハード面から

を図っています。

ソフト面の緩やかな移行